

## インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザ・ウイルス（A型・B型）によって引き起こされる感染症である。一般にウイルスに対する薬剤はないのだが、インフルエンザには特効薬がある。タミフルは内服で、リレンザは吸入である。

好発時期は冬季、つまり乾燥しているときである。一般的には 11 月下旬から 2 月、3 月で、ときに 5 月に及ぶことがある。

表は、空中に飛散したウイルスの 6 時間後生存率である。

温度	湿度	ウイルス生存率
20℃	20%	70%
20℃	50%	3%
32℃	20%	17%

つまり、湿気さえ充分にあれば感染しにくくなる。

発病率は 50%、すなわちウイルスに感染しても 2 人に 1 人は発病しない。要するに、感染に対して十分な抵抗力があれば発病しない。仮に罹ったとしても軽くてすむ。

インフルエンザに罹っても亡くなることはほとんどない。しんどいけど。小児や高齢者では生命に脅威をおよぼすことがあるし、解熱剤によってライ Rye 症候群をおこすことがある。熱を無理矢理下げるのはどうだろうか、という意味。

潜伏期間、すなわちウイルスが体内に侵入してから発症するまでの期間は 18~72 時間。ウイルスを撒き散らしている期間は、最初に症状がでてから 2 日から 5 日である。

症状        以下に書いたものは典型的なもので、そうでないものの方



A型はときに突然変異をおこして、世界的な大流行で死亡する人も大変な数になる。スペイン風邪などがそうであるが、現在は鳥インフルエンザに警戒の目が向かっている。(鳥インフルエンザの項を参照して下さい。)

また、インフルエンザ・ワクチンを接種していても、かかる人は、少ないけれども、あります。昨年度の当診療所では、インフルエンザ感染者34名。うち4名がワクチン接種者で、のこりの30人は、ワクチンをうたなかった人です。

今年 2007 年は、ノロウィルスの流行もあったり、暖冬のためか、少なくとも例年より1ヶ月は流行が遅れている。